



京ヶ峰の四季

第84号

2023年秋号



中央総合棟と院内託児所の庭の栗

新型コロナが私に気づかせてくれたこと

みなさんは、医療事務の仕事についてご存じですか。医療機関によって違いがあるかと思いますが、当院では、外来の受付や保険証、医療受給者証の確認、レセプトの請求書の計算、電子カルテやシステムの管理などを行っています。

特に受付では、患者さまにとって病院で最初に出会う職員になるため、患者さまに安心して受診していただけるよう心がけています。この3年間は、新型コロナウイルスの感染があり受付の仕方も変化し、総務の職員や外来看護師と協力し感染対策をしました。

医師や看護師は、精神科の治療だけでなく新型コロナウイルス感染症に伴う治療や新たな感染防止対策という業務が加わりました。それらへの対応は大変でしたが、職員が一致団結し何とか乗り越えることができました。患者さまやご家族の方々には、ご心配やご迷惑、ご不便をおかけしたことと思います。たくさん温かい励ましのお言葉もいただきました。ありがとうございました。

令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症は2類感染症から5類感染症へと変わりました。2類の時は法律に基づき行政が様々な要請・関与をした仕組みでしたが、5類となり個人の選択を尊重し国民の自主的な取り組みをベースとした対策になりました。季節性インフルエンザと同じ5類扱いになりましたがウイルスが消えてこの感染症との闘いが終わったわけではありません。

人によっては、「普通の風邪と大差ないから、たいしたことはない」と感じる人と「普通の風邪と同じではない、怖い不安」と感じる両方の方がいて価値観の差は大きなものがあります。ひとつの空間により多くの人が集まるようになり、マスクを外す人も増えています。誰か1人がウイルスを持ち込むと感染が拡がりやすい環境にあり、結果として感染者は増え小中学校の学級閉鎖・クラスターが発生している現状があります。

“感染リスクの高い行動は何か”をこの3年半で私達は、多くのことを学んでいると思います。ワクチン接種だけでなく、日常生活の中で疲れをため過ぎないこと、バランスの良い食事、質の良い睡眠などに気を配って生活することが最も重要だと思います。

最後にコロナウイルスは終息していませんので、医療従事者として責任ある行動を常に心がけていきたいと思っています。

医療法人芳精会 京ヶ峰岡田病院
医療事務部部长 山本 敦子

基本理念

一人ひとりの患者さまの幸せのために
～ For the Patients ～

当院における新たな治療への取り組み

修正型電気痙攣療法(modifiedECT:mECT)

電気痙攣療法(electroconvulsive therapy:ECT)は、頭部を電気で刺激することで発作性神経活動を起こし、脳機能の回復を図る治療法です。精神疾患や一部の神経疾患に行われる安全で有効な治療法の一つです。現在は全身麻酔と筋弛緩薬の使用により精神的な負担やけいれんによる外傷を防ぐ修正型電気痙攣療法(modifiedECT:mECT)が一般的です。

多くの患者さまが入院されている当院では、重症の患者さまに遭遇することは稀ではありません。「患者さまの精神疾患による苦悩を速やかに取り除きたい」との思いから院長筆頭に治療に携わる医師、臨床現場のスタッフにとっては当院でのmECT施行は悲願でした。mECTに熟練した精神科医師、麻酔標榜医がそろい、多職種で数回の他院への見学や話し合

いを重ね、準備期間を経て2023年6月より施行開始しました。mECTは主に重度のうつ病や双極性感情障害、統合失調症に対して行われています。特に薬物治療の効果がなかなか得られない、副作用が強く出るため薬物治療が難しい、精神的あるいは身体的観点から迅速な治療効果が必要な状態である、以前にECTが効果的であった方に適応があると判断されます。

治療には入院が必要です。スケジュールは術前検査として血液検査、心電図、胸腹部レントゲン、頭部CTなど行います。治療頻度は週1~2回、合計6~12回が一般的です。



クロザリル治療

当院ではクロザリル治療を2023年5月より開始しました。統合失調症の方に対し、多くの薬が日本にも導入され、症状改善を期待できるようになりました。しかし様々な薬をきちんと服用しても幻覚妄想などの精神症状が良くならない方、副作用が生じやすいため必要な量の薬を服用できず症状が良くならない方、上記の様ないわゆる「治療抵抗性」の状態の統合失調症の方にも有効な場合があると証明された唯一の薬がクロザリルです。日本の臨床試験で治療抵抗性の方の約60%で精神症状の改善が認められました。当院でも強い効果を実感しています。クロザリルは多くの国で使われており、日

本では2009年よりのべ11000人以上の方に用いられました。最も注意しなければならない副作用は無顆粒球症です(顆粒球は白血球の一種)。無顆粒球症が起こると細菌の感染から体を守る働きがほとんど失われてしまうため、適切な対処が必要です。日本では2009年から処方され始め4年間で1.1%の方に副作用としてみられました。早期発見し中止することでほとんどの場合回復に至ります。無顆粒球症はクロザリル開始後の早い時期に起こります。このためクロザリルは入院(基本4ヶ月半)して投与を開始すること、6ヶ月半は毎週の血液検査による白血球等の確認が義務付けられています。

クロザリルは講習を受講・履修して審査を通過した医師だけが処方できます。また治療を行う医療機関は登録が必要で、登録医、コーディネーター、クロザリル管理薬剤師の存在が必要です。クロザリル販売会社内にクロザリル患者モニタリングサービスセンター(CPMSセンター)があり、適切な検査、判断、処方が行われているか確認しています。



治療についてのご相談、お問い合わせは当院までお電話ください。

TEL:0564-62-1421(代表)

第5回京ヶ峰ふれあいまつり 開催のご案内

2019年より毎年秋に開催しております「京ヶ峰ふれあいまつり」。今年は4年ぶりに念願の来場者の方と集まっての開催となります(コロナ禍はオンラインにて開催いたしました)。地域のみなさまに開かれた病院として、身近に感じていただけるよう、お子さまやご家族、全ての年代のみなさまに楽しんでいただける催しを用意しております。ぜひお越しください。



※写真は第1回開催時の様子です。

日時 2023年11月19日(日)
10:00~15:00(受付時間 9:45~14:00)
会場 京ヶ峰岡田病院
※当院駐車場をご利用いただけます。

京ヶ峰ホールでのイベント

(当院ソーシャルセンター2階)

講演会 10:30~11:30
「この冬 気をつけたい 感染症のはなし」
京ヶ峰岡田病院 山本 尚範医師
幸田高校吹奏楽部・岡崎北高校吹奏楽部
「2校のコラボレーション演奏」13:00~
おたのしみ抽選会 14:30~15:00

その他にもいろいろな催し物を用意しております。

- ゲームコーナー ●キッチンカー(各種)
- 相談コーナー ●福祉事業所即売会
- 体験コーナー ●病院の歴史展示
- スタンプラリー(粗品あり)

みなさまのお越しをお待ちしております!

第4回 京ヶ峰ふれあいまつり 川柳 第3弾

2022年秋に開催いたしました第4回京ヶ峰ふれあいまつりに寄せられた川柳をご紹介しますシリーズの第3弾。一般の方と院内から寄せられた川柳のご紹介です。

- ◆ 夜に咲く 華のきれいな 終る夏
- ◆ 10年後 元気でいます これからも
- ◆ 会えずとも 心と心 ふれあおう
- ◆ 何事も 必死で学ぶ 心まで
- ◆ コロナでも そわそわしてる 帰省かな
- ◆ 気にかけて くださるこの ありがたさ
- ◆ 屋下がり 妻と並んで 日向ぼこ
- ◆ ここに来て 強くなったよ このわたし
- ◆ さくらさく ことしもみれて たのしかな
- ◆ ふと気づき レアな発想 意を注ぐ
- ◆ クリスマス 昔イベント 今、平日
- ◆ 目がさめて 慌てて支度 夜明け前
- ◆ どうせなら 歳はステキに 重ねたい
- ◆ 散歩して 三歩歩けば 転んだよ
- ◆ 食の秋 私にとっては 一年中
- ◆ 川柳が うまくうかばず WEB検索!
- ◆ コロナがね 教えてくれた こともある
- ◆ 旅は許可 でもマスクは 解除なし
- ◆ 笑顔まき 岡田の四季に 福来たる
- ◆ スタッフと 患者の笑顔に 和まされ
- ◆ 晩秋の 風そよよと 吹きに来る
- ◆ いまあるく みちはどこまで つづくやら
- ◆ コロナ去り みんなの笑顔 あふれるよ
- ◆ 秋探し サンマのにおい 充滿し
- ◆ 赤とんぼ 目で追う空に イワシ雲
- ◆ ワンピース 秋の女性か あら、マンガ
- ◆ 幸せは 近くにあるよ 君の顔
- ◆ 晴れた空 コウヨウやけつく もみじかな
- ◆ ウイルスで いろんなことが だいなしだ
- ◆ 嵐山 岡田の景色に 重ねつつ
- ◆ 笹かさり しなうがごとく 願いかけ
- ◆ 夕刻時 見てみればあら 赤い月
- ◆ 秋ふかし もみじがりして たのしいな
- ◆ 思いやり SDGs 継ぐ世に



行事報告

岡田音楽フェスティバル



初めての試み!

9月22日(金)

初めての試みとして「岡田音楽フェスティバル」を開催。有志職員が歌や楽器演奏、踊りをドキドキしながら披露しました。133名もの大勢の患者さま・職員が観に来てくれ、暗いホールの中、青く光るペンライトを持ち、音楽と合わせりとても楽しい空間ができました。会場の雰囲気も温かく、ステキな音楽を感じられたひとときでした。

三河地区精神障害者 ふれあいスポーツ交流会「モルック」



7月25日(火)

4年ぶりの開催となったスポーツ交流会。9施設15チームで試合をし、当院は予選敗退でしたが、各チーム戦略を考えながら楽しくプレイしていました。優勝チームには日々受け継がれているトロフィーが授与されました。今後もこの交流会を通して、他施設と交流できたらと思います。

デイケア パスタ+あんみつ作りと 紅白カラオケ大会



7月28日(金)

午前中にパスタとあんみつを役割分担をして作りしました。午後からは紅白カラオケ大会を実施し、参加者はみんなの前で緊張しながらも楽しそうに歌っていました。新型コロナが5類に移行し、感染対策の徹底を図りつつも、久しぶりにカラオケ大会ができ、とても盛り上がりました。

手づくりの日



全ての献立を手づくり

9月13日(水)

今回は全ての献立を一から手づくりしました!患者さまにもとても喜んでいただくことができました。

- きのこの炊き込みごはん
- 鮭のちゃんちゃん焼き
- 味噌炒め
- 手づくり茶碗蒸し
- 杏仁ジャスミンゼリー

中央3病棟 行事食



9月8日(金)

- 鮭寿司
- 手づくり天ぷら
- メロンゼリー

中央4病棟 行事食



7月19日(水)

- シーフードカレー
- アメリカンドッグ
- 彩りピクルス
- パンナコッタ
- クラッシュゼリーのせ

ごちそうさまでした!

おすすめ コーナー

.. ダイエットはシンプルなものが一番 ..

どうやら2035年までに世界人口の半数以上が肥満、または過体重になるらしい。こんなニュースを目にしたことをきっかけに私はダイエットを開始しました。まずはどんなダイエット法があるのか調べてみると、「糖質制限」「16時間断食」「ケトジェニックダイエット」「ローファットダイエット」など様々。それぞれ数ヶ月単位で実践した結果、どれも効果はあったが正直辛い。個人的な意見にはなりますが、「ケトジェニックダイエット」は泣けるほど辛かったです。そして最後にたどり着いたのは「規則正しい生活+適度な運動」でした。睡眠時間をきちんと取ることで暴饮暴食が避けられ、運動習慣を身につけることで基礎代謝がアップし、太りにくい体ができ、今でもリバウンドすることなく過ごせています。

東病棟 小野田 進

(※次号は栄養部の職員が担当します。よろしくお願いたします。)



編集後記

爽やかな風がこちよく、過ごしやすい季節になってきました。毎年庭先に咲くキンモクセイの香りが、今年も秋が来たと感じさせてくれ、ほのぼのとさせてくれるこの頃です。みなさんの秋を見つけてほのぼのしてほしいです。

広報委員 植田



医療法人芳精会
京ヶ峰岡田病院

〒444-0104 愛知県額田郡幸田町大字坂崎字石ノ塔8
TEL (0564) 62-1421 FAX (0564) 62-9338
ホームページ www.kyogamine-okada.com

